

5月14日  
本部  
申22号

## 上越新幹線で発生した停電トラブル に関する緊急申し入れを行う！

2019年4月28日、上越新幹線において停電トラブルが発生し、長時間にわたり運転を見合わせました。これによって、ゴールデンウィークの輸送は大混乱し、多くのお客さまにご迷惑をおかけしました。これによって、監督官庁からは「鉄道の安全・安定輸送の確保について」という指示を受けることとなりました。

新幹線の設備は、多重化やバックアップ設備が手厚く整備されています。また、多客輸送期間は異常時対応体制を敷くなどしていますが、復旧までに多くの時間を要しました。今回の事象の他にも、2018年12月30日や4月26日に発生した車両故障、1月21日の新潟変電所の火災や、4月22日の五日市線におけるちょう架線断線など、多くのトラブルが発生しています。これらの背景には、バックアップ設備や体制をとっていたとしても、それを管理・運用できるだけの体制となっていないことが考えられます。

運輸職場や営業職場においては、大型連休で新幹線を利用される多くのお客さまへの対応に奮闘しました。しかし、相次ぐ運転再開見込みの変更によって現場は混乱し、最近の輸送混乱が多いことへのおしかりも受けるなど、厳しい現実と向き合ってきました。

今年はラグビーワールドカップ、来年には東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、JR東日本に求められる安全・安定輸送の要求はより高まります。労使が安全・安定輸送に関する認識を一致させなければ、お客さま・社会の要望に応え、持続的発展を遂げることは出来ません。

本部は、労使で安全・安定輸送を創り出すため、職場で奮闘する仲間の声に基づき下記のとおり申し入れを行いました。

1. 輸送と保守作業の安全確保は、労使共通の課題として、原因究明と再発防止のために、相互に情報交換等連携をとりすすめていくこと。
2. 上越新幹線において発生した停電トラブルの原因と対策について明確にすること。
3. 異常時における即応体制を敷いている中においても、復旧に大幅な時間を要する事象が頻発していることについて、原因を明らかにするとともに、その対策を具体的に示すこと。